

女川町まちづくりワーキンググループ 瓦版

第 10/11 号

女川町まちづくりワーキンググループの内容をお知らせします

「女川駅と駅前歩道の利活用について」 検討しました。

これまでの6グループに分かれた検討をふまえた、
実現性の高い具体的テーマの集約にといかかいました。

いままでグループごとに、個別テーマを検討してきましたが、今回は町から検討テーマとして「女川駅と駅前歩道の利活用について」を提示しました。また、これまでの6グループを4グループに再編し、新たなグループで話し合いを行いました。

グループごとにどんな駅舎がいいのかその付加機能と、駅前広場と駅前通りのあり方・使い方について、具体的な検討に取り組みました。

第10・11回 ワーキンググループ 開催概要

●日時:

第10回:平成24年11月8日(木)
第11回:平成24年11月22日(木)
各回ともに18:45~20:45

●場所:女川町総合体育館
2階剣道場

●参加者:第10回27名、第11回22名

● 第10回のプログラム ●

- 1 本日のスケジュールの説明
- 2 第9回の結果報告
- 3 本日の検討内容の説明
- 4 グループワーク

● 第11回のプログラム ●

- 1 本日のスケジュールの説明
- 2 グループワーク(前回の続き)
- 3 発表
- 4 これからの検討テーマについて

ワーキンググループの様子



女川町役場 復興推進課

〒986-2261 宮城県牡鹿郡女川町女川浜字大原 316 電話:0225-54-3131(代表)

● 皆さんで考えた事項 ●

赤枠:既に決まっている事項

駅の位置
駅舎:合築タイプ

公共施設
集約エリア

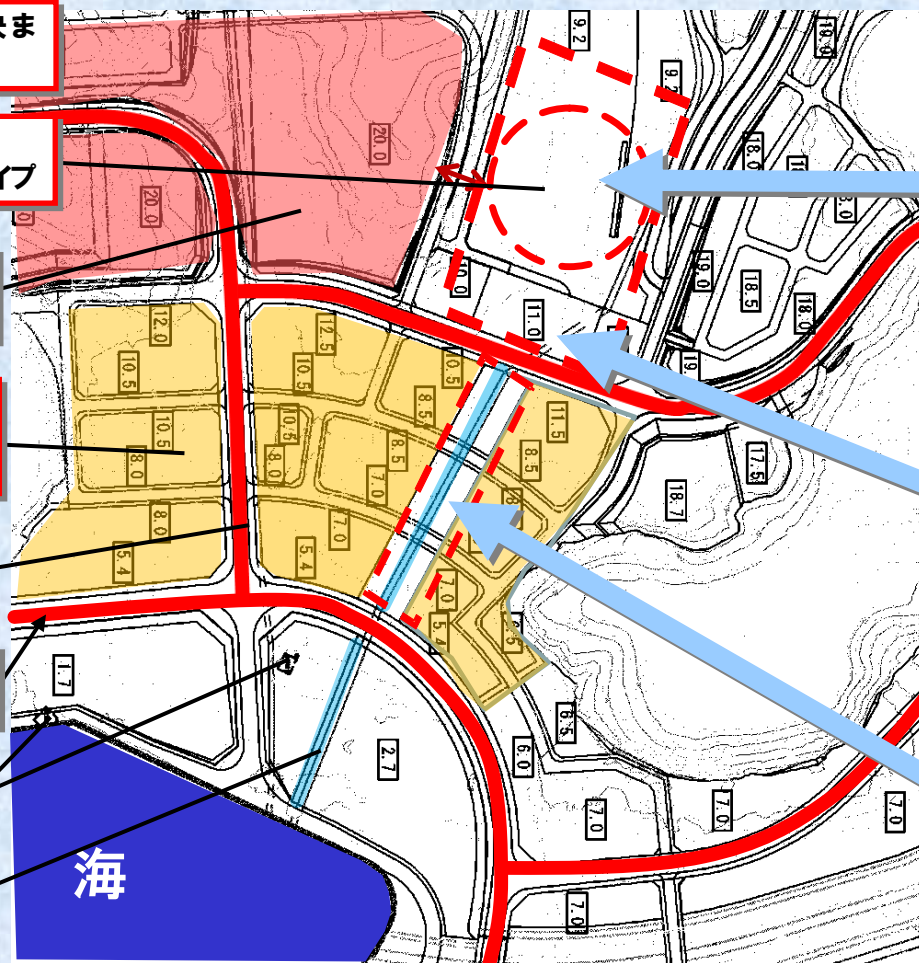
商業エリア
・景観
・生活の場

幹線道路

国道398は
高さ5.4m

倒壊ビル

水路



駅舎

- 何と合築するか?
- 向きはどちらか?
- 機能、役割は?

駅前広場

- 使い方は?
- 空間づくりは?

駅前通り

- 水路をどうする?
- 通りをどう活用する?
- 街路のデザインは?

第10回、第11回WGのグループワークは、下記検討手順を参考に行いました。グループを再編し、4グループで、コンセプトを出し合い、その理由を明確にして、そのために必要な機能を挙げ、それを具体的に図面に落とし込む作業を行いました。

＜検討手順(参考)＞

- ① コンセプトを決める。一人一人アイディアを出し合い、ひとつにまとめる、又はどれかを選ぶ。(20分)
- ② ①で選んだコンセプトの理由を箇条書きにする。(10分)
- ③ ②で出された理由を実現するために、又は解決するために必要な機能を挙げる。(30分)
- ④ ③で出された機能の実現のために必要な“施設”“モノ”を挙げる。(20分) 【第10回はここまで】
- ⑤ ④で出された“施設”“モノ”を図面に示して具体的な配置を検討する。

● 12月のワーキンググループ開催予定 ●

第12回のワーキンググループを、以下の日程で開催します。

- 場 所:女川町総合体育館 2F 剣道場
- 時 間:18:45~20:45
- 開催日:第12回 平成24年12月13日(木)

ご多忙の折恐縮ですが、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

次回は
12月13日(木) 18:45~
開催します!



● 各グループの検討結果 ●

※紙面の関係上検討結果の一部の掲載となります。ご了承ください。

Aグループ コンセプト：親水公園のようなイメージの駅

駐車場
イベントでも足りるくらいの規模

薬局 病院利用者

商店街
●飲食店は商店街へ(駅ビルとのすみわけ) ●銀行、郵便局 ●買い物できる店 ●高さ制限(駅一海が見える) ●来街者が入れる飲食店 ●コンビニは駅正面ではなく、ちょっと脇に(駅周辺の景観) ●ランチが食べられる店(働いている人) ●昼休みの休憩所(役場も近い) ●町が、店や事務所のためのハコを用意(再建支援) ●シャゼリゼ通りのようなオープンカフェ

港周辺
●海釣り公園 ●船を使って遊べる(マリーナ) ●金華山 宝くじ(船で行く) ●海が見えるキャンプ場 ●海が見えるところに・トレーラーハウス・コテージ



駅舎・駅ビル
●託児所(通勤者の利便性) ●始発・終電まで開いている店 ●暖かい待合室 ●足湯 ●海が見えるホーム ●鉄道車両からも女川港を見せたい ●鉄道車両の車庫・待機スペースを展示場に

駅前広場
●インフォメーション ●駅舎に巨大スクリーン(スポーツ観戦) ●特徴的な駅舎 ●駅舎正面は広場 ●水遊びできる噴水広場 ●広場でイーガーション ●獅子の像

駅前通り
●子どもが遊ぶ公園 ●子供の水遊びの場所 ●水車 ●子供の水遊びの場所 ●季節が感じられる街路樹

集客施設
●大きな駐車場(海の駅側) ●スポーツバー(海の駅) ●温泉 ●本格的な食事処

Cグループ コンセプト：人が集まる駅

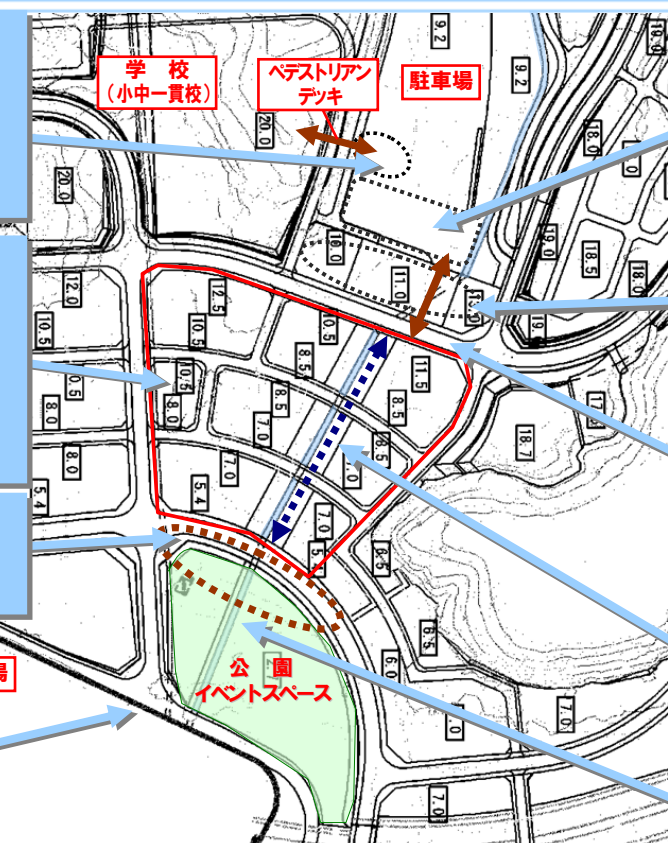
ペDESTリアンデッキと繋がるビル
●コミュニティセンター ●図書館 ●学習施設 ●ネイチャーセンター ●観光案内所 ●温泉施設(海が見えるように上層階に設置) ●コンビニ

商業エリア
●歩行者専用街区(道路) ●バリアフリー化 ●緊急用、イベント、商業用の車のみ通行可能にする ●街区内の道路は必要最小限の整備 ●街路を小道にして、来訪者にワクワク感を持たせる ●誰でも商売にチャレンジできるエリアとする

国道398号
●歩道を広げる ●自転車道 ●駐車場としなくても路駐スペースを設け

一般道、自動車道
車が人を横切らない

海岸
一部を浅瀬とし、親水空間とする



駅舎
●駅舎は平屋建 ●東京駅を意識した造り(屋根瓦に雄勝スレートを使用) ●従前の駅舎の配置・形がよかった ●ソーラー発電のある駅舎

駅前広場
●噴水の設置 ●車の侵入を最小限にする

駅前清水線
道路を横断せずに駅から水路まで行けるようにする

駅前通り
●駅～水路～海まで連続して歩いて行けるようにする ●オープンカフェ(小さい店がいくつも集まっている) ●川沿いの誘導灯(夜は「光の街」) ●街路樹は黄色っぽいもの(暖色系)

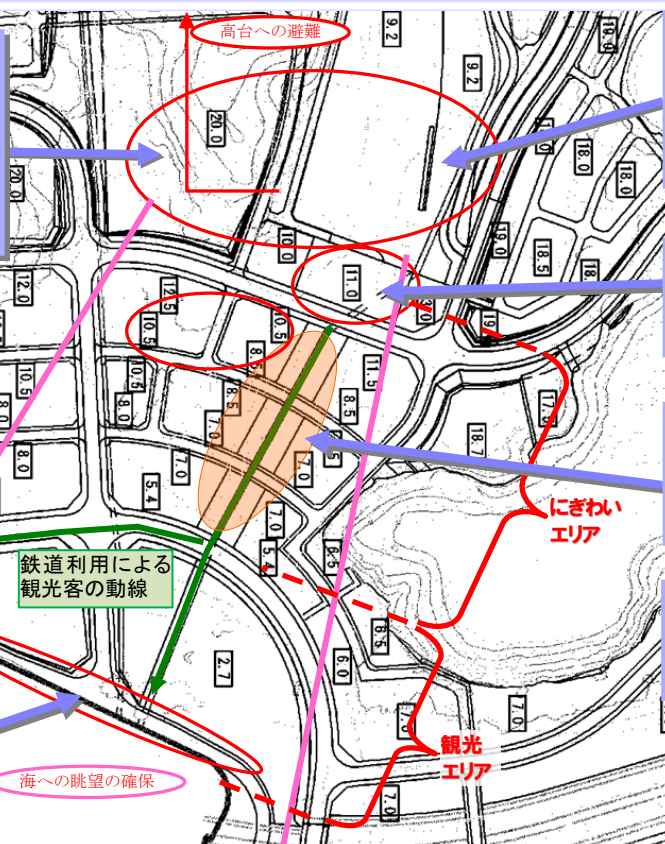
水路
鮭が遡上できるようにする

Bグループ コンセプト：まず、人が集まる駅、活気のある駅

役場
●高台にある役場と駅舎を一体化させることで、駅から高台への避難を容易にする ●役場には多くの町民が訪れることから、駅と一体化させることで賑わいが生まれる ●役場に展望台があってもよい

ゆぼっぼ
大きな集客施設であり、町全体の中で配置を考えるべき(駅前にすべて集約するのではなく、町全体で動線やゾーニングを考える必要がある)

海辺
ライトアップにより、魅力的な空間にする



駅
●駅と公民館、図書館を合築 ●役場と一体となった駅 ●海側の高い位置に展望台テラスをつくる

駅前広場
タクシー、バスに乗りできるスペース(広場)とする

商店街
賑わいの空間として、カフェ、土産、飲み屋、魚屋等を配置

水路
水路を利用し、親水公園のような駅前通りを整備

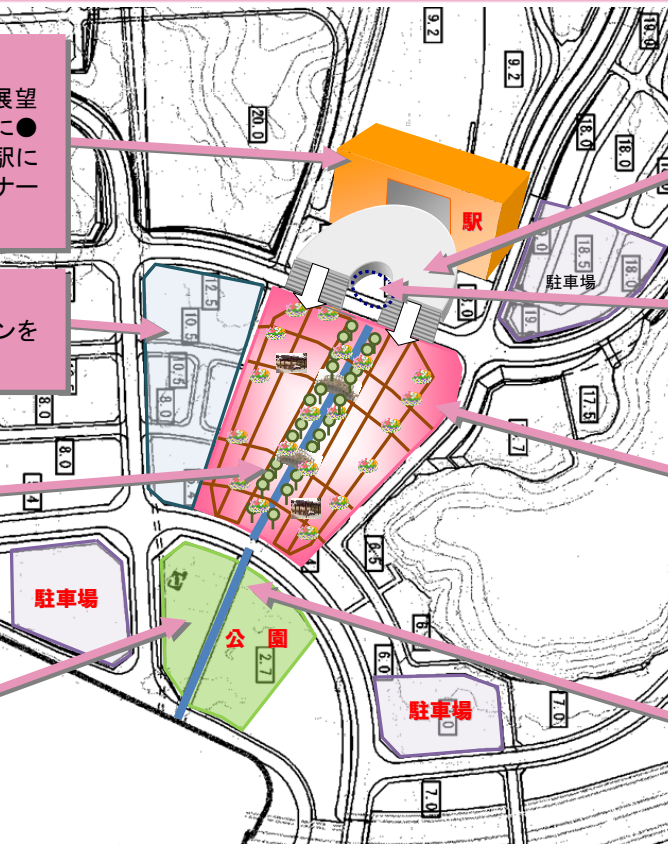
Dグループ コンセプト：(良い意味での) たまり場<町の外の人も中の人も>

駅舎の機能
●ゆぼっぼの合築 ●休憩所として展望台にカフェ ●駅のデザインはレトロに ●終着駅の看板・特注切符の販売 ●駅に女川らしさを感じるこのできるコーナーの設置

夜のお店ゾーン
夜のお店は、駅前商店街とはゾーンを分けて設置する

歩道・休憩所
●並木道や小道の整備 ●東屋の設置

公園
●災害遺構が残る場合、町外向けの公園とする ●イベントは駅前広場で行う



駅前広場
●ペDESTリアンデッキ、改札は2F ●イベントの実施 ●ペDESTリアンデッキの下にバスターミナル・タクシープールを整備

ペDESTリアンデッキの下にバスターミナル・タクシープールを整備

駅前商店街
●観光客向け、町民向け両方の商店が並ぶ ●歩行者専用エリアとする ●商店街エリアは統一感をもたせるために景観等のルールを制定

親水空間の創出
●せっかくある水路を活かす ●海まで続く親水公園 ●海へ続くプロムナード ●駅で完結せず海に向かってもらう(商店街へ寄ってもらう)